

# 龍・流連携事業報告書

事業名	心肺蘇生法 及び AED実習		年度	平成27年度
担当部署	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市立愛宕中学校		
	流通経済大学	スポーツ健康科学部（稲垣 裕美 准教授）		
実施日及び回数	6月17日（水）	実施場所	愛宕中学校体育館	
人数	事業対象者：愛宕中学校2学年生徒 74人 大学協力者：教職員 1人 ・ 学生 9人			
実績及び成果 （事業内容）	<p>流通経済大学の学生を9名招き、2年生を対象に心肺蘇生法やAEDの実技実習を行いました。グループごとに分かれ、実演を交えながら教えていただき、分かりやすく学ぶことができました。本校の生徒たちは真剣な表情で取り組んでいました。</p> <p>AEDの大切さ、使い方を理解し、これからの生活に生かしていきたいと思えます。</p> <div data-bbox="411 1104 834 1420"> </div> <div data-bbox="411 1435 834 1715"> </div> <div data-bbox="411 1727 834 2007"> </div> <div data-bbox="863 1048 1461 2078"> <p>茨城県龍ヶ崎市 6月18日 9:03</p> <p>愛宕中学校2年生が、流通経済大学の指導のもと、AED使用方法などを学びました。</p> <p>【危機管理室】</p> <p>6月17日（水）、市立愛宕中学校（根本 勇一 校長）の2年生74人が、体育の授業の一環として、流通経済大学スポーツ健康科学部の稲垣 裕美准教授と学生10人の指導のもと、胸骨圧迫とAEDの使用方法（一次救命処置）を学びました。</p> <p>普段、市内のコンビニエンスストアなどで目にするAEDも、いざ使う局面になると誰もが戸惑いを覚えると思いますが、今回の愛宕中学校のほか、最近同様の授業を実施した中根台中学校、城ノ内中学校および大宮小学校のように、具体的に「誰かを助ける方法を学ぶ、ことは、実際に人のいのちを救うという行為とあわせて「お互いに助け合え、いのちを大切に作る社会をつくる、ことに繋がっていく」と思っています。</p> <p>そして授業を終えて、お世話になった流通経済大学の皆さんに、代表でお礼を述べた生徒が、「もし目の前で人が倒れたら、今日学んだことをいかして、いのちを救いたい。」と力強く言った言葉に、当市の未来がみえたように感じました。</p> <p>いいね！・コメント・シェア</p> <p>34人がいいね！と言っています。</p> </div>			